

令和元年7月24日

於 全員協議会室

令和元年7月

大和市教育委員会定例会

大和市教育委員会

令和元年7月大和市教育委員会定例会

○令和元年7月24日（水曜日）

○出席委員（5名）

1番	教育長職務代理者	青 蔭 文 雄
2番	委 員	小 松 俊 子
3番	委 員	森 園 廣 子
4番	委 員	前 田 良 行
5番	教 育 長	柿 本 隆 夫

○事務局出席者

教 育 部 長	佐 藤 健 二	こ ども 部 長	樋 田 久 美 子
文 化 ス ポ ー ツ 部 長	小 林 心	教 育 総 務 課 長	石 川 正 道
学 校 教 育 課 長	溝 口 広 幸	保 健 給 食 課 長	遠 藤 隆 久
指 導 室 長	板 坂 和 明	教 育 研 究 所 長	中 村 美 紀
青 少 年 相 談 室 長	新 井 隆	こ ども ・ 青 少 年 課 長	徳 永 英 和
図 書 ・ 学 び 交 流 課 長	中 丸 信 孝		

○書 記

教 育 総 務 課 政 策 調 整 係 長	金 子 純 一 郎	教 育 総 務 課 政 策 調 整 係 主 査	川 井 克 己
-----------------------	-----------	-------------------------	---------

○日 程

- 1 開 会
- 2 会 議 時 間 の 決 定
- 3 前 回 会 議 録 の 承 認
- 4 会 議 録 署 名 委 員 の 決 定
- 5 教 育 長 の 報 告
- 6 議 事  
日 程 第 1 （ 議 案 第 4 5 号 ） 令 和 元 年 度 大 和 市 奨 学 生 の 決 定 に つ い て  
日 程 第 2 （ 議 案 第 4 6 号 ） 令 和 2 年 度 使 用 小 学 校 教 科 用 図 書 の 採 択 に つ い て
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

開会 午前10時00分

○柿本  
教育長

ただいまから、教育委員会7月定例会を開会いたします。

会議時間は正午までとします。

前回の会議録は、署名委員の署名をもって承認されました。

今回の署名委員は、2番小松委員、3番森園委員にお願いいたします。

続きまして、教育長からの報告をさせていただきます。

初めに、前月定例会以降の動きについてご報告します。

6月28日には、大和市交通安全対策協議会役員会が開催されました。今年度の1回目の協議会役員会として、今年活動の中から夏の交通事故防止運動や秋の交通安全運動などが提案、審議されました。

7月1日には、大和市社会教育委員委嘱式に出席し、委嘱状をお渡しいたしました。社会教育委員会は、家庭教育への啓発に力を入れ始めております。教育委員会との一層の連携も図りながら、活動を応援してまいりたいと考えております。

7月2日、3日、4日の3日間、学校訪問として小学校5校、中学校5校を教育委員の皆様と共に回らせていただきました。

今年度の学校訪問のテーマといたしましては、学力向上の取り組み、いじめ、不登校の実態と取り組みに加え、通常の学級に在籍する支援を要する児童・生徒の現状と課題や小学校英語教育の成果などをテーマとさせていただきます。

それぞれの課題に対しての各学校での工夫や成果とともに、学校が苦戦している様子も伝わってまいりました。意義のある学校訪問になったと思います。

6日には、青少年相談室主催の青少年健全育成講演会を開催いたしました。講師に早稲田大学大学院教育学研究科の鈴木眞理先生をお招きし、「子どもの心と向き合うためのアンガーマネジメント講座」という演題でお話をいただきました。強い感情が入りまじり混乱することで衝動性が高まります。そうした状態にいる子どもの心を整理し、本人の気づきと学びを促すためのアンガーマネジメントは、これからの学校現場でとても有効な手立てとなることと思います。とても参考になる講演会でした。

11日には、本年度第1回目の大和市青少年問題協議会が開催され、青少年問題に関する現状の報告や青少年の育成団体の取り組みが報告され、また大和市青少年健全育成大会に向けての審議も行われました。

12日には、学校給食共同調理場運営協議会が行われ、新しい協議会委員への委嘱状交付とご挨拶をさせていただきました。

13日には、親子ナイトウォークラリーの表彰式に出席をさせていただきました。当日は残念ながら小雨模様の天候でしたが、桜丘小学校をスタートして、544名の親子が4キロメートル、6キロメートル、8キロメートルのそれぞれのコースにチャレンジし、1組も棄権することなくゴールの下福田小学校に到着いたしました。夏休みを前にゆっくりと親子の触れ合いができたようです。

15日には、大和市剣道選手権大会の開会式に出席させていただきました。

16日には、大和市子ども見守り活動協議会の第1回の立ち上げ会を開催いたしました。5月28日に起きました川崎での痛ましい児童殺傷事件を受け、子どもたちの安全を守るために急遽立ち上げたものです。今までそれぞれの小学校の地域でPTAや自治会、関係団体の皆様やボランティアの方々が進めてきてくださいました取り組みを横につなげ、見守り活動を一步前へ進めたいという願いからのスタートとなりましたが、全ての地区、団体の皆様から快く参加の承諾を得、全小学校区そろっての立ち上げ会となりました。今後、各地区における地道な活動を協議会として支えていきたいと考えております。

18日は、神奈川県市町村教育長連合会第1回幹事会が鎌倉浄智寺で開催され、神奈川県教育委員会への予算編成等に対する要望書の内容などを検討いたしました。

20日には、20、21日の土日で、保健給食課主催で開催いたしました学校給食展をのぞかせていただきました。

前月定例会以降の動きにつきましては、以上でございます。

次月定例会までの予定といたしましては、夏のおもしろ科学館、イングリッシュデイ、給食調理従事者研修会を予定しております。

以上で、私からの報告は終わります。

ただいまの報告に対しまして、質疑、補足等ございましたら、委員の皆様からお願いいたします。

○小松 委員      まず、学校訪問についてです。先ほど教育長がおっしゃられたように、学校としては、学力向上はもちろんですが、児童の状況、家庭の状況、地域の状況をよく把握して、何が必要なのかをしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

もちろんこれまでもそのように取り組んでいただいていますけれども、まだまだ足りないと感じましたので、これからより一層しっかりと

取り組んでいただきたいと思いますと思いながら、学校訪問をさせていただきました。

次に、青少年健全育成講演会に出席させていただきました。アンガーマネジメントということで、先ほども教育長から報告がございましたが、お話を聞いていて、子どもたちの学校での状況はもちろん、家庭の中でも、特にアンガーマネジメントの状態というのは、やはり子どもが攻撃的な行動になってしまっていますので、どのように子どもたちに声をかけたらいいのか難しい。

ただ、子どもたちの内面というのは、ただただ攻撃したいだけではなく、本当は色々な感情が入り混じっていて、自分が何をどうしていいのか、どう感じているのか分からなくなっている状況だとのお話がありました。そのときに周りの大人がどうしてあげるべきなのか。特にこんなことは絶対いけないというのは、火に油を注ぐような言葉がけです。例えば、自分の感情のままで「何でそうなるの」「どうしてそういうこと言うわけ」のような類の言葉は、火に油を注いでしまう。周りの大人たちは、まず一呼吸おいて、そして子どもの気持ちを落ち着かせたところから話に入っていこうとの講演をいただきまして、非常にこれは学校現場でももちろん、家庭の中でも、ああ、そのとおりだと思い、反省できる、そんな講演会で、とても有意義なものだったと感じております。

子どもの見守り活動協議会にも出席させていただきました。やはり今、想像がつかないような事件が起こっている中で、子どもたちをどう守っていくのか。もちろん防犯に関しては、色々な取り組みをいただいておりますが、それぞれの地域、それぞれの学校から、それを大和市全体で、との活動になったのは、これは非常に喜ばしいことだと感じております。自治会サイド、地域の方たちからは、色々厳しいお言葉もございましたけれども、それをしっかりと受けとめて、ではどうしていったらいいのか、という実りのある活動にしていきたいと感じたところでございます。

以上です。

○森 園 学校訪問でございますが、3日間、私も出席させていただきました。  
委 員 学力向上などにつきましても、それぞれの学校が、パーツ、パーツで一  
生懸命取り組んでいらっしゃる事が良く分かりました。

この取り組みをパーツ、パーツではなく、どのように繋いでいくのが、これからの取り組みの課題ではないかと思って加わらせていただいてまいりました。

それと、いじめと不登校でございますが、いつも、いじめと不登校については色々な指標を表の形で報告していただいておりますが、その中身を良く調べて質問させていただきますと、色々な課題が違う方面で出てくるということが分かりました。いじめと不登校につきましては、本当にきめ細かな指導が必要と感じてまいりました。

次に、7月13日の親子ナイトウォークラリーに出席させていただきました。毎年毎年本当に定着して、親子が夏の夜空を見ながら、ウォークラリーをする。私は、素晴らしい企画だと思っております。年々参加者も増えまして、喜ばしいことではございます。今年は特に市制60周年を記念しまして、星のソムリエ、皆川先生をお呼びしていました。目に見えない天の川が見られる望遠鏡をお持ちだったので、是非子どもたちに天の川を望遠鏡で見てもらいたかった。あいにくその日は、教育長もおっしゃっておいりましたように、小雨模様でしたので残念でございました。ナイトウォークラリーも親子の触れ合いに加えて、夏の夜空を観察するような企画をされていくというのは素晴らしいことと思います。今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

次に、大和市子ども見守り連絡協議会が立ち上がりました。私も地域の一員として、15年前からこの登下校の見守りをしておりますが、このように大和市で統一した見守り隊ができるということは、とても大切なことです。情報が一点化して、混乱が起きないように、皆さんに連絡できるという大変なメリットがございませう。これからますます頑張っていきたいと私も思っております。

以上でございます。

○前田 委員 　　まず、3日間の学校訪問ですけれども、各学校も学力向上やいじめ、不登校問題について様々な取り組みがなされているということはわかりました。

ただ、ランドデザインを作成して、総括教諭を中心とした運営組織をもとに様々な課題に取り組んでいますけれども、そのグループのまとめ、グループ化の連携などで学校間に少し差があつて、課題の取り組みにも差があると感じました。

それから、青少年健全育成講演会ですが、先ほど小松委員からもありましたけれども、アンガ-の状態の児童生徒は、どのクラスの中にも必ず数人いて、アンガ-状態になったときに、そのタイプによってどのように対応していったらよいか、また、してはいけないことは何なのかとの話をされまして、これはどの先生方にも一度は聞いてほしい内容の話だと思ひました。

それから、青少年問題協議会は、これは青少年の健全な育成のために、行政機関、学校などだけではなく、多くの関係団体や市民の皆さんが尽力されているということを改めて実感いたしました。

最後に、子ども見守り活動協議会ですけれども、これも学校や地域の中で、子どもたちが安心して安全に過ごせるように、学校、保護者、地域、関係機関、行政が一体となって取り組む最初の一步となったのではないかと思います。

以上です。

○柿本 教育長 では、ほかにないようでしたら、私の報告に対する質疑のほうは終了させていただきます。

### ◎議 事

○柿本 教育長 それでは、議事に入ります。  
日程第1（議案第45号）「令和元年度大和市奨学生の決定について」を議題といたします。

細部説明を求めます。

溝口学校教育課長。

○溝口 学校教育課長 よろしくお願ひいたします。  
それでは、議案第45号「令和元年度大和市奨学生の決定について」、説明させていただきます。

令和元年度大和市奨学生選考審査会が7月12日に行われ、3名の委員全員に出席していただきました。審査会にて、家庭の経済状況、学業成績、納税状況などを総合的に判断して、答申をいただいたところです。

資料の3ページ、4ページですが、令和元年度に50名の新たな奨学生の答申を得ております。また、5ページ、6ページは、平成30年度からの受給者46名、7ページは、平成29年度からの受給者22名についても答申が得られました。

令和元年度の新たな申請者の86名のうち、所得要件で23名、在学確認書類等の未提出で4名、納税関係の滞納で1名が対象から外れ、58名の中から経済状況、学業成績などを総合的に判断して50名の答申となっております。

平成30年度より受給している現高校2年生につきましては、申請者の51名のうち、所得要件で4名、納税等滞納で1名が外れ、46名の答申となっております。

平成29年度より受給している現高校3年生は、申請者29名のうち、所得要件で7名が外れ、22名の答申となっております。

また、奨学金を受給して平成31年3月に卒業された方々に、卒業後の進路状況を報告していただいております。その中で、3年間受給した感謝の言葉や自分の夢に向け希望の学校に進むことができたこと、給付型の奨学金の有難さなど、たくさんのご意見、ご感想が寄せられたところでございます。

今年度も実りある奨学金になるよう、奨学生の決定について、ご審議をお願いいたします。

○柿本  
教育長

細部説明が終わりました。

質疑、ご意見等ございましたらお願いいたします。

なお、個人情報が含まれますので、質疑に当たりましては、名簿の左端の番号でお願いいたします。

○小松  
委員

この奨学金制度が、なかなか皆さんのところまで周知されていなかったところ、ここ何年間かは、学校の協力、学校からの勧めもありまして、非常に多くの方が申し込みをしてくださるようになりました。

その中で、条件に合わないご家庭もありますが、今年度に関しましては、いろいろな条件をクリアしたけれども、各学年50名の枠から8名の方が対象から外れるということもございました。ここをただ単に拡大していくということは、これはやはり市の財政など、色々考慮すべきことがありますので、難しいところではあると思いますが、例えば3学年で150名という枠で捉えていくと、もう少し柔軟に対応できることもあるかと思えます。今は学年ごとに50名となっていますが、3学年で150名という捉え方をしていくと、もしかしたら、もう少し柔軟な対応ができるようになってくるのではないかと少し感じております。

そして、高校を卒業された方から感謝の言葉をいただくということは、非常に、少しでもお手伝いすることができてよかったですと感じますので、今後はやはりこのあり方というところを少し見直しなども必要な時期に来ているのではないかと感じました。

以上でございます。

○柿本  
教育長

ご意見ありがとうございました。

制度に向けての検討につきましては、来年度に向けてまた早急に着手していきたいと考えております。

委員の皆様、ほかにご意見ございますか。

○青蔭  
委員

ただいまの教育長のお言葉を拝聴いたしまして、もちろん市には予算がございますので、無制限に人数を増やそうというようなことは申し上



げることには全くできませんが、少なくとも今回お伺いした中では、もう少し後ろ盾があれば、高校卒業という、自分にとって大事な資格を得ることに繋がるのではないかと思いますと、先ほど来お話が出ていますが、柔軟に対応して、できれば生活苦、それから昨今発表されましたが、生活のために高校を辞められる方が相当数おいでになるということをお聞きすると、少しでも生徒に学問をする、それから勉強した成果を社会に生かせるということをお考えを持って、このような子どもたちに接するのも教育委員の仕事だと思いますので、是非その点を考慮いただきまして、制度を検討いただきたいと思いますと思っております。

以上であります。

○柿本  
教育長

ご意見ありがとうございます。

ほか委員の皆様よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

これより、議案第45号について採決いたします。

本件の原案について、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしということで、議案第45号は可決いたしました。

次の日程第2(議案第46号)ですが、議事運営上、日程を変更し、その他の後に審議することといたします。

◎その他

○柿本  
教育長

それでは、その他に入ります。

各課からの報告事項がございましたら、順次報告してください。

ないようですので、事務局より何かございますか。

委員の皆様からは何かございますか。

特にないようでしたら、8月定例会の日程をお知らせいたします。

8月定例会は、8月19日月曜日午前10時からを予定しております。

ここで、関係職員以外の退室をお願いいたします。関係職員として、教育部職員を指定いたします。

それでは、暫時休憩いたします。

(休憩)

(再開)

再開いたします。

日程第2(議案第46号)「令和2年度使用小学校教科用図書の採択

について」を議題といたします。

まずは、大和市教科用図書採択検討委員会からの報告を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂  
指導室長

大和市教科用図書採択検討委員会では、今回、大和市教科用図書採択方針に基づき、令和2年度使用小学校教科用図書につきまして、文部科学省からの「教科書編集趣意書」、神奈川県教育委員会からの「調査研究の結果」、調査研究員による「調査研究報告書」、市内小学校からの「学校アンケート」、教科書展示会でいただきました感想・意見などを参考資料として検討してまいりました。

採択検討委員会は、5月27日、7月4日、7月10日に開催し、7月4日、7月10日につきましては、調査研究員から調査結果の報告を受け、慎重かつ公正に検討を行いました。

採択検討委員会の検討結果につきましては、大和市教科用図書採択検討委員会報告書にまとめてございます。

なお、報告書には全発行者についての調査研究報告の概要及び採択検討委員における主な意見・協議内容などを記載しております。

併せて、特別支援学級用教科用図書の採択につきましてもご説明させていただきます。

特別支援学級に在籍している児童が使用する教科用図書につきましても、一般図書も含めて次年度に使用する可能性がある図書について採択をする必要がございます。

令和2年度特別支援学級に在籍予定の児童の中に、拡大版の教科用図書を使用することが望ましいと、検討している児童がおります。

特別支援学級在籍児童が拡大教科書を使用する場合、学校教育法附則第9条により採択が必要になります。そこで、令和2年度使用大和市小学校特別支援学級用教科用図書として、令和2年度使用小学校教科用図書と同じ内容の拡大教科書の採択をお願いするものでございます。

なお、今回、教科書目録に登載されております、全ての教科書は拡大教科書に対応しておりますことを申し添えさせていただきます。

以上です。

○柿 本  
教育長

ただいま大和市教科用図書採択検討委員会からの報告の説明をいただきました。

これについて質疑等ございますか。

ないようでしたら、質疑を終結し、審議に入りたいと思います。

審議に入るに当たりまして、採決方法についてお諮りいたします。

教科書採択については、市民の皆様方の関心も特に高く、より透明性

の高い採択とするため、採択方法は委員の挙手により採決することといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、議事に入らせていただきます。

異議なしということで、採決につきましては、挙手により過半数を超えた教科用図書を選定することといたします。

それでは、改めて審議に入ります。

審議は1種目ごとに行います。国語科国語から審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂 採定検討委員会では、報告書の中央の欄に記載があります、調査研究  
指導室長 員の報告概要等を受けまして、各種目の教科書の検討に当たりました。

国語につきましては、第1順位、光村図書出版株式会社、第2順位、学校図書株式会社、第3順位、東京書籍株式会社。以下、教育出版株式会社という推薦をいただきました。

光村図書につきましては、「主体的に言語活動をどうしたらよいかわかりやすく示されている。」「教科書ごとに副題があり、児童が入りやすい。」「文学作品が歴史があって充実している。」「巻末の付録が扱いやすい。」「教員も長く読み込んでおり、使いやすい。」

学校図書につきましては、「つけたい力が見開きにあり、何を学習するかが明確。」「幼保からのつながりが意識されている。」「対話を重視している。」「行が読み取りやすい。」

東京書籍につきましては、「文学教材が読みやすい。」「パラリンピック、ユニバーサルデザインを多く取り上げている。」

教育出版につきましては、「広がる言葉で中学校との連携が意識されている。」

以上が、採定検討委員会の所見でございます。

○柿 本 細部説明が終わりましたので、委員の皆様から意見等をお願いしたい  
教育長 と思います。

森園委員、お願いしてよろしいですか。

○森 園 まず、学校図書でございますが、国語力に大切な意味調べや語彙の表  
委 員 現する楽しさが織り込まれていて良いと思います。また、物語のそれぞれをどのように読解するか、その読解力の方法を示されて良いと思います。

2番目に、光村図書、本当に文学的な作品が随所に書かれており、読書する力がとても推進するのではないかと思います。全体として挿入の

絵も落ち着いていて使いやすさを感じます。

以上でございます。

○柿本  
教育長

ありがとうございます。

では、続きまして、前田委員、よろしいでしょうか。

お願いいたします。

○前田  
委員

第1番目に、光村図書です。表紙の裏に学習の仕方が示してあって、言語能力の育成に当たって何をどのように学んでいくのか良く分かるようになっていきますので、1番目としました。また、巻末に本の生活を広げようとあって、学年ごとに子どもたちが読みたくなるような本の紹介があり、これは読書に繋がっていくと思いました。

2番目は、学校図書です。子どもたちにつけたい力が見開きになっていて、とても分かりやすいということで2番目にしました。

○柿本  
教育長

ありがとうございます。

では、小松委員、よろしいでしょうか。

○小松  
委員

まず、子どもたちのためにそれぞれの出版社がとても素晴らしい教科書を作っていただきまして、ありがとうございます、との思いでいっぱいでございます。

国語でございますが、各社とも言葉の力を身につけるために、ということテーマに編集されておりました。その中で東京書籍は、例えば、言葉の力を探しに行こうというように、言葉の力という表現でポイントを上げているところが非常に良いと思いました。

続いて、光村図書は、基本方針として、「心を動かす、言葉が動かす、言葉の力と豊かな感性を身につける」を基本方針に上げて編集されており、言語能力の確かな育成のために振り返りや思考力を深めるための巻末の付録の「言葉の宝箱」がある。これが良いと感じました。

また、材質のことを言わせていただきますと、光沢がない材質を利用しておりまして、これは蛍光灯の反射が少なく、どの場所においても見やすい、そして材質以外に、全体的な構成も非常に見やすくできていて良かったと感じました。

以上でございます。

○柿本  
教育長

ありがとうございます。

それでは、青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭  
委員

まず、学校図書を推させていただきました。新しく小学校に入ってくる子どもが教科書に導入するところです。大変興味深く、なお親切に細かい配慮があることに感銘をいたしました。そして、学年が上がるに連れまして、対話、そしてまた、言葉遣いを豊かにするという工夫がされ

ておりました。

それから光村図書は、申すまでもなく、先ほど小松委員がおっしゃいましたが、このハーフトーンの教科書は、もう国語の教科書の定番と言っていいほど我々の目になじんでまいりました。その中で非常に文学に対して、あるいは言葉遣い、言葉の重さ、それから日本語の持っている美しい言葉の響き等々を考えますと、この2社から選びたいと存じます。

以上であります。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

委員の皆様、ほかにはよろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑のほう終結いたします。

それでは、国語科国語について採決いたします。

本件につきまして、私が発行者名を読み上げますので、委員の皆様は、賛成の挙手をよろしくお願いいたします。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

学校図書。

(賛成者挙手1名)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

光村図書。

(賛成者挙手3名)

ありがとうございました。

光村図書が賛成3人ですので、国語科国語の教科用図書につきましては、光村図書に決定いたしました。

続きまして、国語科書写について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板坂  
指導室長

書写につきましては、第1順位、東京書籍株式会社、第2順位、光村図書出版株式会社、第3順位、教育出版株式会社。以下、日本文教出版株式会社、学校図書株式会社という推薦をいただきました。

東京書籍につきましては、「とめ、はね、はらいが濃淡になっていてわかりやすい。」「気をつけるべきところが赤字で示され明確。」「左ききへの配慮がなされている。」「オノマトペが児童にわかりやすい。」

光村図書につきましては、「すっきりして見やすい紙面である。」

「シール、キャラクターがふんだんで書写嫌いが減る。」 「国語とそろえたい。」

教育出版につきましては、「毛筆の導入が丁寧。」 「書くことの楽しさ、表現の方法が紹介されている。」 「運筆がわかりやすい。」

日本文教につきましては、「一目見てわかりやすい紙面構成。」 「作品づくりが充実している。」

学校図書につきましては、「作品例が豊かで生活に生かせる楽しさがある。」

以上が採択検討委員会の所見でございます。

○柿本 細部説明が終わりましたので、委員の皆様から御意見をお願いしたい  
教育長 と思います。

では、森園委員、よろしいでしょうか。

○森園 第1番は東京書籍でございます。書写の学ぶポイントがきちんと示さ  
委員 れているところが非常に良いと思います。また、注意すべきところを赤  
点で添削する、これも子供に分かりやすくよろしいと思います。また、  
ここだけが左ききへの配慮がなされています。これも良かったと思いま  
す。

2番目は、光村でございます。楽しく書写が取り込みやすいというこ  
とで良かったと思います。

以上でございます。

○柿本 ありがとうございます。

教育長 では、前田委員、よろしく願いいたします。

○前田 1番は光村図書です。これは各学年で子どもたちが分かりやすいよう  
委員 に、また、理解しやすいようにキャラクターや写真などを使った工夫が  
見られるということがまずありました。それから、何よりも全体的にす  
っきりしていて見やすく使いやすくだらうと思いました。

2番目が東京書籍です。これは色分けしたり、キャラクターの動きを  
加えたりして、子どもたちが感覚的に理解しやすいように工夫されてい  
るところが良かったと思います。それから、今、話に出ましたように、  
左ききへの配慮がなされているというのも良いと思いました。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。

教育長 では、小松委員、お願いいたします。

○小松 どの教科書もとても良かったのですが、その中で私がちょっと目につ  
委員 いたものが光村図書と東京書籍で、ともに「書く力をはぐくみ身につけ  
よう」ということを基本として作られており、どちらも非常に見やすか

ったと思います。先ほど来、出ておりますが、東京書籍は左ききへの配慮もなされている、そういったところも良かったと思います。

ちょっとこの2社で甲乙つけがたいところなのですが、光村の例えば1、2年生の書くときの姿勢や持ち方などが、より丁寧にわかりやすく示されていたというところ、要するに子どもたちに丁寧に分かりやすくという点では、光村のほうがちょっと良かったと感じております。

○柿本 ありがとうございます。

教育長 では、青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 委員の方々がもう何か全て言い尽くしまして、答えることがなくなりました。東京書籍については、昔はどうしても字を書くときに、左ききは強制的に右に直すということをしたものですが、やっここで左ききが市民権を得たと申しますか、ちょっと特別な感情を覚えました。

それから、光村図書でございますが、先ほどから話が出ておりますが、書写体操、姿勢ということが、もちろん私にとって今座る姿勢が、あるいはこういう椅子に座る姿勢が乱れておりますので、ここを小学生のうちからきちとなさっていただく。別に書写だけに関係なく、生活の一部として取り入れていただいたら良いと思ひまして、やはりこの2社から選択したいと思っております。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。

教育長 ほかにご意見ございませんか。よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、国語科書写について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手1名)

学校図書。

(賛成者挙手なし)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

光村図書。

(賛成者挙手3名)

ありがとうございます。

光村図書が賛成3人ですので、国語科書写の教科用図書につきましては、光村図書に決定いたしました。

続きまして、社会科社会について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂 社会につきましては、第1順位、東京書籍株式会社、第2順位、教育  
指導室長 出版株式会社、第3順位、日本文教出版株式会社という推薦をいただきました。

東京書籍につきましては、「児童に考えさせるような問いが提出されている。」「初めに学び方が示されており、学習を見通しやすい。」

「分冊になっており、児童への負担が少なく、また、学校によりカリキュラム編成の工夫が可能。」「まとめの学習が適宜設定されている。」

教育出版につきましては、「資料が多く、1ページ当たりの情報量が多い。」「他教科とのかかわりを意識させ、横断的に学べる。」「取り上げられている地域教材がより身近である。」

日本文教につきましては、「地理分野で身近な話題から始まっている。」「問いが会話形式で授業がしやすい。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 細部説明が終わりました。

委員の皆様からのご意見をお願いいたします。

森園委員、よろしいでしょうか。

○森 園 社会につきましては、それぞれの出版社、本当に色々な形から取り上  
委 員 げて下さっておりますが、特に東京書籍、学習の問題解決が本当にスムーズに進めるようにアプローチされていると感じました。それから、学習がそれに対して取り組みやすくなると思われま。それと過去の歴史的悲慘な課題に対し、形式問題に問いかけるものになっている、これが非常に考えさせて良いと思っております。

次に、教育出版でございます。取り上げられる地域教材が本当に身近で良かったと思っております。また、日本文学、身近なところから会話形式でスタートしている。これも良かったと思います。

以上でございます。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 それでは、前田委員、お願いいたします。

○前 田 まず、東京書籍です。「使う」「調べる」「まとめる」のマークや、  
委 員 本日のまとめが示されていまして、子どもたちは学習の流れを理解しやすく、見通しをもって学習することができると思われました。また、資料や写真がとても見やすかったということと、分冊になっていて軽いとい



うこともありました。

2番目は、教育出版。情報量が多く、ただその割には文字の大きさや行間の取り方が適切で見やすかったということがあります。この時間の問いから次につなげようということが記載されていまして、つながりや見通しをもって学習することができるだろうと思いました。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。

教育長 小松委員、お願いいたします。

○小松 前田委員がおっしゃったことと重複するところもありますが、まず東京書籍につきましては、写真など多く利用しているので非常に見やすかったと思います。それから、5・6年生が上・下巻に分かれている。ここが良かったと思います。

続いて、教育出版ですが、先ほどもお話に出ましたように、この時間の問い、次につなげよう、まとめるなど、つながりや学習の見通しが立てやすい教科書になっていると感じました。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。

教育長 青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 まず、教育出版でございますが、先ほど来、出ておられますが、社会的な見方、考え方の視点や方法で吹き出し等を用いています。自然な形で子どもたちに引き出しができるように工夫されていると思いました。

それから、もう一つ、東京書籍でございますが、何といたってもこれからの子どもたちに考えさせる、自ら考えるという問いをきちっと促していることが、現代社会に向けて子どもたちに学問をつけていただくには良いと感じました。

よって、2社のうちから選びたいと存じます。

○柿本 ありがとうございます。

教育長 ほかにご意見ございますか。よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、社会科社会について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手3名)

東京書籍が賛成3人ですので、社会科社会の教科用図書につきましては、東京書籍に決しました。

続いて、社会科地図について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

- 板 坂 地図につきましては、第1順位、株式会社帝国書院、第2順位、東京  
指導室長 書籍株式会社という推薦をいただいております。

帝国書院につきましては、「学習の導入として地図の約束、記号について充実している。」「防災・災害の資料が豊富である。」「標高の色分けなど見やすくなっている。」「大和市の表記が関東のいずれのページにも表示されている。」

東京書籍につきましては、「地図上にイラストが多く、情報が多い。」「英語表記で他教科との関連が図れる。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

- 柿 本 細部説明が終わりました。  
教育長 では、委員の皆様のご意見をお願いいたします。  
森園委員、お願いいたします。

- 森 園 帝国書院につきましては、防災・災害の資料が豊富である。これは今  
委 員 の時代にとっても大切だと思っております。それと地図として、非常にバ  
ランスがとれていると思います。地図の約束や地図の記号などを詳細に  
書かれている。これも良かったと思います。また、大和市の表記がされ  
ていることも特筆すべきことだと思います。

東京書籍に関しましては、本当にイラストや情報が多く、これも良かったと思います。

以上でございます。

- 柿 本 ありがとうございます。  
教育長 では、前田委員、お願いいたします。
- 前 田 2つの比較になりますが、まず、地図帳の使い方が詳しく書いてあっ  
委 員 て分かりやすいということと、何よりも地図が分かりやすくて見やすい  
ということで、私は帝国書院がいいと思いました。

- 柿 本 ありがとうございます。  
教育長 では、小松委員、お願いいたします。

- 小 松 2社とも非常に良かったのですが、2つ見る中で、やはり見やすさ  
委 員 という点では、帝国書院と感じました。

- 柿 本 青蔭委員、お願いいたします。  
教育長

- 青 蔭 東京書籍はその表記を英語ですということ、これからグローバル化  
委 員 の中で子どもたちがそういうものを使っていく。世界地図の中で、国名

なども英語で書かれていまして、大変稀有に思いました。

もう1社は帝国書院でございますが、先ほどから出ておりますが、地図上に身近な、自分が住む、住しておられます大和市が表記されていることによりまして、子どもたちがよりさらに地図を見る楽しみができると感じました。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、社会科地図について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

帝国書院。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました。

帝国書院が全員ですので、社会科地図の教科用図書につきましては、帝国書院に決しました。

続いて、算数科算数について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板坂  
指導室長

算数につきましては、第1順位、東京書籍株式会社、第2順位、学校図書株式会社、第3順位、教育出版株式会社。以下、株式会社新興出版社啓林館、大日本図書株式会社が同位、日本文教出版株式会社という推薦をいただいております。

東京書籍につきましては、「1年生の導入が工夫されていて現場で使いやすい。」「5年生まで上下巻で児童の健康に配慮されている。プログラミング的思考について扱われている。」「学習課題が児童の生活に近い。」

「学校図書につきましては、4マス関係表が児童にとって理解しやすい。」「全学年共通して思考をつなげていく工夫が見られる。」

教育出版につきましては、「中学校に向けてのページが充実している。」

啓林館につきましては、「イラストや図表が見やすく落ち着いている。」

大日本図書につきましては、「切り離しができるページが児童の興味

を引きやすい。」

日本文教につきましては、「生活場面での算数を想起させる工夫がなされている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本  
教育長

細部説明が終わりました。

委員の皆様からご意見をお願いいたします。

森園委員、お願いいたします。

○森園  
委員

内容について学習の課題が身近なところから用いられ、非常に数の扱いが分かりやすくなっております。また、プログラミング的な思考が取り扱われていて、組み立てが取り易くなっております。

次に、学校図書でございますが、4マス関係表は本当に児童にとって算数を理解しやすい、本当に注視するところでございます。

以上でございます。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

前田委員、お願いいたします。

○前田  
委員

まず、東京書籍です。全体的に子供も理解しやすいように、既習事項を確認しながら進めるなど、丁寧な授業展開ができると思いました。そして算数への学習の導入が分かりやすく、興味を持って取り組めるようになっていると感じました。

2番目が学校図書です。図や表マス関係表で子どもたちが理解しやすいようにするなど、全学年で思考を繋げていけるような工夫がしてあると感じました。

以上です。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

では、小松委員、お願いいたします。

○小松  
委員

各社とも数学的な視点で物事を捉え、総合的発展的に考えていくことを基本方針として上げているようでした。

その中で、日本文教ですが、巻末に「算数マイトライ」というものがありまして、これは児童の習熟度に応じて取り組める工夫がされていると感じました。チェック、チャレンジ、ジャンプという項目で、児童の学習状況にあわせて取り組める問題があり、工夫されていると感じました。

続いて、東京書籍ですが、数学的な見方、考え方が明示されていて、絵や図や写真を利用して分かりやすい、見やすいつくりになっていました。例えば、1年生のブロックの使い方や計算方法などがその1つの例で分かりました。1年生に関しましては、初めて算数に向かうというこ

とで、導入も非常に工夫されています。それ以外の学年のところでも、マイノートを作ろうということで、学習の振り返りや新しい問題解決への取り組みへのノートづくりが掲載されておりまして、これも非常に興味の引くところでした。

以上です。

○柿本  
教育長  
○青蔭  
委員

ありがとうございました。

青蔭委員、お願いいたします。

全て委員の方々がこれまた言い尽くしておられますので、私が申すことはなくなりました。

東京書籍でございますが、單元ごとに生かしてみよう、ためしてみよう、つないでいこうと、算数の目ということは、非常にこれからの子どもたちに身につけていただきたい課題でございます。特にプログラミング、非常に論理的に物事を考え、そしてまた論理的に考えた上で、自分がいかに実行できるかということを知っていただきたいと思っておりますので、東京書籍を1位にさせていただきました。

学校図書でございますが、こちらにも1年生に向けての配慮が感じました。振り返ろう、つなげようということが設定されておられまして、子どもの学習を深める条件をきちっと捉えておられると感じておりました。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、算数科算数について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました

東京書籍が賛成全員ですので、算数科算数の教科用図書につきましては、東京書籍に決しました。

続いて、理科について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板坂  
指導室長

理科につきましては、第1順位、株式会社新興出版社啓林館、第2順位、教育出版株式会社、第3順位、学校図書株式会社。以下、大日本図書株式会社、東京書籍株式会社が同位という推薦をいただきました。

なお、一般社団法人信州教育出版社につきましては、見本本等が送付されておりませんので、調査及び検討は行われておりません。

啓林館につきましては、「実験の流れがわかりやすくなっている。」  
「ものづくりのページが設定されていて、児童の興味を引きやすい。」  
「すっきりしていて主体的に学んでいける。」「6年生の巻末は中学での学習にもつながる。」  
「男女の別なく活動でき配慮がされている。」

教育出版につきましては、「裏表紙にある安全の手引きが使いやすい。」  
「単元同士のつながりがまとまっていて、学習の見通しを持ちやすい。」  
「適切な問題数となっている。」

学校図書につきましては、「失敗したときにどうしたらよいかを考えられるようになっている。」  
「理科の偉人について提示されている。」

大日本図書につきましては、「問いづくりへの工夫があり、みんなで一緒に考えることができる。」

東京書籍につきましては、「設問数が多くあり書き込みが多くできる。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本  
教育長

細部説明が終わりました。

ご意見等お願いいたします。

では、森園委員、お願いいたします。

○森園  
委員

よろしくお願いいたします。

啓林館でございますが、本当に実験がスムーズに楽しくできるような運びになっていると思います。それに従って学習する課題が興味を持てるような指導になっております。全体的にすっきりと運ばれていると思います。また、本当に男女の差なく活動が運びやすくなっていると思います。

2番目です。教育出版でございます。安全の手引き案内がとても良かったと思います。

以上でございます。

○柿本  
教育長

前田委員、お願いいたします。

○前田  
委員

1番目が啓林館です。問題、観察実験、結果、結果から考える。そしてまとめるという学習の流れになっていて、子どもたちが取り組みやすく理解が深まりやすいと思いました。また、全体に紙面がすっきりしていました。

2番目が教育出版です。巻頭の学習の進め方で、学習の進め方が、そして裏表紙の安全の手引きでは、安全の配慮があって、わかりやすく示

されているのがとても良かったと思います。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。  
小松委員、お願いいたします。

○小松  
委員

まず、東京書籍ですが、ダイナミックな写真、イラストや文字の大き  
さで視覚に非常に訴えていると感じました。ただ、A4判でちょっと厚  
さがありまして、子どもたちが実際に扱うとなると、扱いづらさが出て  
しまうと感じました。

続いて啓林館ですが、「自然に親しみ、みずから問題を発見し、解決  
し、未来を切り開く力を育てるために」を基本方針として編集作成され  
ておりました、観察や実験方法が詳しく記載されているので、児童も非  
常に取り組みやすいと感じました。

問題に対して予測を立て実験する、観察する、結果がどうだったか、  
そこから分かることは何か、答えを確認してまとめがありました。そし  
て確かめよう、活用しよう、もう一度考えてみようということで、分か  
りやすく非常に見やすい教科書だと感じました。

以上です。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。  
青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭  
委員

まず、教育出版でございますが、何回か委員の方も認めております  
が、計画から考えて学びを広げよう、科学的思考力が育まれるような構  
成になっていると感じました。

もう1社、啓林館でございますが、1つの実験でもろもろ出る。それ  
から答えは1つではなく、別の方法を提示して複数の結果に基づいて考  
察できるように教科書ができているなど感じました。

巻末に、ノーベル化学賞をとられた田中先生の言葉で読んでいただき  
たいと思いました。「小学校のとき、理科は教科書に書いてあるとおりの  
答えを求めるのではなく、みずからが考えて発見するものだと知りま  
した」という文言が私は痛く自分の手帳にも書きまして、小学校の教科  
書でありながら、この老人がまた自分の考えを改めさせていただきま  
した。

以上であります。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。  
ほかにご意見ございますか。よろしいでしょうか。  
ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。  
それでは、理科について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求

めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

大日本図書。

(賛成者挙手なし)

学校図書。

(賛成者挙手なし)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

信州教育。

(賛成者挙手なし)

啓林館。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました。

啓林館が賛成全員ですので、理科の教科用図書につきましては、啓林館に決しました。

続いて、生活科生活について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂  
指導室長

生活につきましては、第1順位、東京書籍株式会社、第2順位、教育出版株式会社、第3順位、大日本図書株式会社。以下、学校図書株式会社、株式会社新興出版啓林館、そして光村図書出版株式会社と日本文教出版株式会社が同位という推薦をいただいております。

なお、一般社団法人信州教育出版社につきましては、見本本等が送付されておりませんので、調査及び検討は行われておりません。

東京書籍につきましては、「1年生の導入部分が生活科の学習を始める上でわかりやすい構成となっている。」「サイズが大きく親しみが持てる写真がある。」「児童の興味を引くイラスト、写真が豊富である。」「花の成長を比べて学習しやすい見せ方になっている。」「ポケット図鑑が使いやすい。」

教育出版につきましては、「ドングリの示し方が児童の興味、関心を引く。」「大和市は自然が豊富で身近な内容になっている。」「挿し絵が多く写真がわかりやすい。」「巻末の学びのポケットがよい。」

大日本図書につきましては、「図鑑が入っているのがよい。」「活動するときの提示がよい。」「とても細かい情報が載っている。」「低学年で身につけるべきことが万遍なく書かれている。」



学校図書につきましては、「防災を扱っている。」「写真が豊富に使われている。」「児童の心の動き方について触れている。」

啓林館につきましては、「絵が多く児童が見やすい。」「異文化への配慮がある。」

光村図書につきましては、「安全について取り扱っている。」

日本文教につきましては、「安全面への配慮がされている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本  
教育長

細部説明が終わりました。

委員の皆様からご意見をお願いしたいと思います。

では、森園委員、お願いいたします。

○森園  
委員

生活科は、身近な生活の中の学習のところから、やはり身近な内容が教育出版は取り入れられていると思います。イラスト、写真が多く、これが非常に目を引きます。学びやすい雰囲気を出しております。花の成長からやる花の挿入、非常にきれいで良いと思います。これが特徴とっております。

次に、東京書籍、非常に分かりやすく、これも挿入、イラストが非常に良かったと思います。花の成長、取り組みの指導が丁寧に観察されて、これも良かったと思います。

以上でございます。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

前田委員、お願いいたします。

○前田  
委員

まず、教育出版です。観察するときのヒントがあって、学習に取り組みやすいと思えました。そして写真や挿し絵がとても多くて分かりやすいことが理由です。

2番目が学校図書です。ここも写真が多くてとても見やすい。それから物知りノートで、記録カードの書き方や書くときのポイントが詳しく示されているところが良かったと思います。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いいたします。

○小松  
委員

まず、大日本図書ですが、表紙がちょっと他とは違ったイメージでございました。これがまず目を引いたということと、内容ですが、学習道具箱として、巻末に非常に多くの情報が載っておりました。それが良かったと思います。

教育出版ですが、生活科の授業を通して、本来子どもに備わっている6つの力を引き出す法ということで編集していただいたようです。サイコロをアイコンにして目当てが示されていること、写真を多く取り入れ

ているので分かりやすいと思いました。採択検討委員会も取り上げていますが、私もこのドングリが非常に興味関心を引くところだと思います。ドングリの言葉が非常に心に残っています。

以上です。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭  
委員

まず、教育出版でございますが、単元の最後に何を感じたのかということが設定されていて、子ども自身の学びや変容を振り返って勉強できると感じました。それから、巻末の学びのポケットというのも興味を覚えました。

もう一つ、東京書籍でございますが、やはり1年生ということで、その導入部分が非常に分かりやすく構成されていると感じました。

それから、ポケット図鑑。これは切り取ってしばらく経ってからも活用できるので、楽しみになると感じました。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見ございますか。よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、生活科生活について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手1名)

大日本図書。

(賛成者挙手なし)

学校図書。

(賛成者挙手なし)

教育出版。

(賛成者挙手3名)

ありがとうございました。

教育出版が賛成3人ですので、生活科生活の教科用図書につきましては、教育出版に決しました。

続いて、音楽科音楽について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板坂  
指導室長

音楽につきましては、第1順位、教育出版株式会社、第2順位、株式会社教育芸術社という推薦をいただきました。

教育出版につきましては、「各学年で学習する内容がわかりやすくなっている。」「児童が楽しんで音楽表現に取り組めるようになっていく。」「目当てが示され、曲を通して何を身につけるかが明確になっている。」「曲の歌詞にあった写真が掲載されている。」

教育技術につきましては、「リコーダーの扱いが発達段階に適している。」「合唱の扱いが丁寧である。」「誰もが取りかかりやすい楽しめる題材が多い。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本  
教育長

細部説明が終わりました。

教育委員の皆様のご意見をお願いいたします。

森園委員、お願いいたします。

○森園  
委員

まず、教育出版でございますが、本当に内容が分かりやすく、児童が本当に音楽を楽しめるよう配慮してあります。それから特筆することは、伝統、音楽の大切なところを指導されているというのも良かったと思います。

次に、教育芸術社でございます。リコーダーの扱いが本当に良くされていて、楽しくなると思わせました。音楽を誰でも取り扱えるような合唱を取り入れている。これも良かったと思います。

以上でございます。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

前田委員、お願いいたします。

○前田  
委員

まず、教育出版です。子どもたちにとって親しみのある曲が多くて、楽しみながら音楽表現に取り組めるだろうと思いました。そして紙面が大きくて見た目がすっきりしていると感じました。

2番目が教育芸術ですが、最初に1年間の見通しを持たせるページがあって、学習する内容が分かりやすく示してあるところがとても良いと思いました。

以上です。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いいたします。

○小松  
委員

2社とも非常に良いと思いました。あまり大差がないというところでしたが、教育出版が、楽譜の配置されているところが非常に見やすいところにあったということと、例えば鍵盤、ハーモニカなどですが、楽器の扱い方を、写真を用いて非常に分かりやすく、教育芸術社も写真やイラストなどで分かりやすくはなっていますが、より分かりやすく示されていたのが教育出版と感じております。

- 柿 本 ありがとうございます。  
教育長 青蔭委員、お願いいたします。
- 青 蔭 教育出版でございますが、伝統的な音楽や諸外国の音楽から様々な時代、曲種の教材が扱われていて、子どもたちにとって非常に楽しめる教科書かと思っております。  
委員 教育芸術社でございますが、日本の伝統芸能や童謡について文化的な背景や歌詞の意味ということが克明に記されておりましたので、後ほど結果を出したいと思っております。
- 柿 本 ありがとうございます。  
教育長 ほかにご意見よろしいでしょうか。  
ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。  
それでは、音楽科音楽について採決いたします。  
本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。  
教育出版。  
(賛成者挙手4名)  
ありがとうございます。  
教育出版が賛成全員ですので、音楽科音楽の教科用図書につきましては、教育出版に決しました。  
続きまして、図画工作科図画工作について審議を行います。  
細部説明を求めます。  
板坂指導室長。
- 板 坂 図画工作につきましては、第1順位、開隆堂出版株式会社、第2順位、日本文教出版株式会社という推薦をいただきました。  
指導室長 開隆堂につきましては、「目当てから振り返りまで1つの活動として展開できている。」「動機遊びが多く、体全体を使ってダイナミックに表現できる題材が多い。」「作品そのものの写真が多く、児童が完成のイメージがしやすい。」「学びの資料ではさみについて丁寧に扱っている。」  
日本文教につきましては、「各冊のテーマがわかりやすい。」「巻頭がキャッチでわくわく感がある。」「片付けについて安全に配慮し、詳しく扱われている。」  
以上が、採択検討委員会の所見でございます。
- 柿 本 細部説明が終わりました。  
教育長 教育委員の皆様のご意見をお願いいたします。  
森園委員、お願いいたします。

○森 園 開隆堂につきましては、美術作品の写真やイラストが非常に多く、こ  
委 員 ういうもの見て児童がイメージを沸く、これが美術にとって、とても大  
切だと思います。美術は分かりやすく、これが芸術だということをそう  
いうところから学ぶことが大切だと思います。

また、造詣が楽しくできるよう、道具の使い方、扱い方も紹介されて  
いてこれも良かったと思います。

次に、日本文教でございますが、図工をやるにかかって色々な取り扱  
いがございます。その取り扱いについてのマナー指導がされておしま  
す。これは非常に良かったと思います。

以上でございます。

○柿 本 ありがとうございます。  
教育長 前田委員、お願いいたします。

○前 田 2社ともに、特に安全面について写真やイラストを使ってとても丁寧  
委 員 に扱っていると感じました。写真やイラストで子どもたちがイメージを  
持って、より学習に取り組みやすいのは、開隆堂と思いました。

○柿 本 ありがとうございます。  
教育長 小松委員、お願いいたします。

○小 松 2社とも非常に良かったと思います。先ほど前田委員がおっしゃられ  
委 員 たように、安全面に配慮したところが良かったと思います。

その中で、開隆堂につきましては、巻頭見開きに目当てが分かりやす  
く示されているので、学習の見通しが立てやすいと思いました。道具な  
どの扱い、安全面や後片づけについてマーク、写真、イラストで非常に  
丁寧に示されているので、子どもたちにも見やすく分かりやすいと感じ  
ました。

以上です。

○柿 本 ありがとうございます。  
教育長 青蔭委員、お願いいたします。

○青 蔭 まず、開隆堂でございますが、最も基本である安全ということ、そし  
委 員 て、その後に誰もが嫌がるのですが、後片づけ、ここをきちっとできる  
ように、幼少のころから教育をしていただきたいという点から、私は開  
隆堂が良いと感じております。

以上であります。

○柿 本 ありがとうございます。  
教育長 ほかにご意見ございますか、よろしいでしょうか。  
ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。  
それでは、図画工作科図画工作について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

開隆堂。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました。

開隆堂が賛成全員ですので、図画工作科図画工作の教科用図書につきましても、開隆堂に決しました。

続きまして、家庭科家庭について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂 家庭につきましても、第1順位、開隆堂出版株式会社、第2順位、東京書籍株式会社という推薦をいただいております。

開隆堂につきましても、「教科横断的なカリキュラムマネジメントの視点を持てるのがよい。」「安全面を最初に取り上げている。」「写真や図がはっきりしていて、小学生が読みやすい字や空間になっている。」「家庭科を学ぶ背景に触れている。」

東京書籍につきましても、「1ページ見開きで見られ、絵も大きくわかりやすい。」「解説の図、写真が丁寧でわかりやすい。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 細部説明が終わりました。

教育委員の皆様のご意見をお願いいたします。

では、森園委員、お願いいたします。

○森 園 まず、開隆堂でございますが、家庭での実践が非常に見えて分かりやすいと思います。写真や図や非常に丁寧に案内されております。これはすぐ理解できるような内容になっております。それから、学習のプログラムが段階的にきちんと構成されていると思います。

次に、東京書籍、本当に指導が丁寧に紹介されております。

以上です。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 前田委員、お願いいたします。

○前 田 開隆堂です。まず、安全面にとっても配慮がしてあるということと、それから考えよう、調べよう、話し合ってみようという学習の進め方がとても分かりやすく示してある。そして写真が多くて、とても見やすくて分かりやすいということです。

それから、東京書籍ですが、学習の見通しを立てやすいように、

スモールステップで学習の流れが示してあるということと、紙面が大きくてとてもゆとりがあって見やすいということを感じました。

○柿本 教育長 ありがとうございます。  
小松委員、お願いいたします。

○小松 委員 私は、開隆堂ですが、やはり安全面が最初に取り上げられておりました。それから、ここが大事と思われるようなところですが、例えば、調理の中での包丁の使い方や、ガスの火の強さも絵で示されることが多いのですが、実際には写真で見たほうが分かりやすいと感じたところでした。

全体的に写真などをうまく利用して、分かりやすく説明しているのは開隆堂と感じました。

○柿本 教育長 ありがとうございます。  
青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 委員 東京書籍でございますが、解説とそれから写真が大変適切で分かりやすく感じました。

開隆堂でございますが、何回か出ておりますが、安全面ということ是非常に取り上げたい。それから知識、技能の定着のために、学習の面で終わりに振り返ろうということを設定されていて、きちっと横断的な学習ができる印象がございます。

以上です。

○柿本 教育長 ありがとうございます。  
ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、家庭科家庭について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

開隆堂。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございます。

開隆堂が賛成全員ですので、家庭科家庭の教科用図書につきましては、開隆堂に決しました。

続きまして、体育科保健について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂 保健につきましては、第1順位、株式会社学研教育みらい、第2順位、株式会社光文書院、第3順位、東京書籍株式会社。以下、大日本図書株式会社と株式会社文教社が同位という推薦をいただいております。

学研みらいにつきましては、「内容が精選され薄くて扱いやすい。」  
「中学での学習につながるような性教育の内容になっている。」  
「心の問題が丁寧に扱われ、日常生活でも生かすことができる。」  
「犯罪等バランスよく取り上げられている。」

光文書院につきましては、「不安や悩みへの対処について丁寧に扱っている。」  
「児童の思考の流れに沿って配分されている。」  
「思春期の取り扱いが爽やかである。」

東京書籍につきましては、「見やすくまとまっている。」  
「書き込みの欄があるのがよい。」

大日本図書につきましては、「防犯・防災について扱っている。」

文教社につきましては、「インターネットの影響など自分の生活をふりかえり、学習できる。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿 本 細部説明が終わりました。

教育長 委員の皆様からご意見をお願いいたします。

森園委員、お願いいたします。

○森 園 まず、学研みらいでございます。身体について内容がきちんと本当に整理されていると思います。説明がくどくなく、非常にすっきりとしております。また、保健教育としての大切な身体と心の扱い、これが非常にバランスよく、体、そして心に通ずるものの構成が良かったと思います。それと社会的なかわりにきちんと触れておりました。これが良かったと思います。

次に、光文です。これも心の問題、対処が丁寧に扱われております。それから、健康の大切さ。これも丁寧に扱われていると思いました。

以上でございます。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 前田委員、お願いいたします。

○前 田 まず、東京書籍です。子どもたちが見通しを持って学習を進めることができるように、ステップ1からステップ4までの学習の流れが設定されていて、取り組みやすくなっている。そして、主体的対応ができて深い学びにつながるように工夫されていると思いました。

次が学研みらいです。性教育や薬物乱用防止について丁寧に扱っているということと、教え合う、学び合う活動が多く取り入れられていると



いうことが良いと思いました。

○柿本 ありがとうございます。  
教育長 小松委員お願いいたします。

○小松 保健につきましても、体のことや、心のこと、親には非常に難しいと  
委員 ころだと思いながら拝見させていただきました。

その中で、学研みらいにつきましては、心の問題などが本当に丁寧に扱われていたと思いました。犯罪などのバランスも非常によく取り上げられていたと見させていただきました。

東京書籍ですが、ステップの1から4で構成されていて、ステップ4の最後に、これからの生活につなげる投げかけが設定されています。子どもたちの主体的対話で深い学びの授業に結びついていくと感じました。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。  
教育長 青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭 光文書院でございますが、各学年の学習内容を学びの意識から、ストーリー形式の定番と言われている4コマ漫画を示して、子どもたちに学ぶ意識を高めるとともに、見通しを持って学習できると思いました。

学研みらいでございますが、科学や実習など知識、教養を身につけると同時に、健康、安全面についての知識を科学的に習得できるように工夫されていると思いました。

以上です。

○柿本 ありがとうございます。  
教育長 ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、体育科保健について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手2名)

大日本図書。

(賛成者挙手なし)

文教社。

(賛成者挙手なし)

光文書院。

(賛成者挙手なし)

学研教育みらい。

(賛成者挙手2名)

ありがとうございました。

東京書籍が2人、学研教育みらいが2人、賛成同数でございます。

私の意見を述べさせていただきます。私は、性の問題につきまして、非常に今、時代的にも大切な問題になっておりますが、性の部分が非常に充実しているということから、私は東京書籍とさせていただきたいと思っております。

よって、東京書籍が過半数に達しますので、体育科保健の教科用図書につきましては、東京書籍に決しました。

続いて、外国語科英語について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂 英語につきましては、第1順位、株式会社三省堂、第2順位、東京書籍株式会社、第3順位、光村図書出版株式会社。以下、開隆堂出版株式会社と学校図書株式会社、教育出版株式会社と株式会社新興出版社啓林館が同位という推薦をいただいております。

三省堂につきましては、「リスニングが充実しており、聞く活動が重視され、中学校ともつながる。」「現在、児童が学習しているフォニックスのプログラムと近い。」「学ぶ意義がしっかりしている。」「表現活動が多く取り扱われている。」

東京書籍につきましては、「別冊もあり単語が重視されている。」「英文を使う場面が見開きで扱われ、わかりやすい。」「会話が重視され、児童が意欲を持てる。」

光村図書につきましては、「目次で学習の見通しが持てわくわくする。」「スモールステップで児童が無理なく活動できる。」「文字が大きく日本語訳もあり、どの子も楽しく取り組める。」

開隆堂につきましては、「プログラミング的思考と関連させて学習することができる。」

学校図書につきましては、「書く内容が多く扱われ、罫線を使って文書や文を書くことができる。」

教育出版につきましては、「他教科でなれ親しんだ内容が扱われ、教科横断的な学習ができる内容となっている。」

啓林館につきましては、「書く活動が適切に盛り込まれている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿 本 細部説明が終わりました。

教育長           では、委員の皆様からのご意見をお願いいたします。  
                  森園委員、お願いいたします。

○森 園           まず、東京書籍。会話が本当に実践に入りやすい。非常にスムーズに  
委 員           会話に取り入れられるということで、日常の生活で英会話が楽しめるよ  
                  うな工夫がされております。とても大切なことだと思っております。会  
                  話ができるようになると自分の世界が広がり、また、その広がった世界  
                  からいろいろなその子の人格が形成されていて、とても大切なことだ  
                  と思っております。

                  次に、三省堂でございます。会話の説明がとても丁寧で、言葉の意味  
                  が紹介されております。それから実践に取りかかりやすくもなっており  
                  ます。リスニングがきちんとされており、設定されている、これも良か  
                  ったと思います。聞くこと、これは本当に大切なことだと思ってお  
                  ります。

                  以上でございます。

○柿 本           ありがとうございます。  
教育長           前田委員、お願いいたします。

○前 田           まず、三省堂です。リスニングが充実していて、聞く活動が重視され  
委 員           ているので、子どもたちが感覚的に捉えやすくなっているということ  
                  です。それからホップ・ステップ・ジャンプと学びのプロセスが確立され  
                  ていて、段階的に学習内容の定着が期待できるだろうということ  
                  です。

                  それから、東京書籍ですが、会話文が多く用いられて、お互いに会話  
                  がしやすいように工夫されて、意欲を持って学習に取り組めるだろう  
                  ということと、各単元で音声から文字へと学習が進められているとい  
                  うことが良いと思いました。

                  以上です。

○柿 本           ありがとうございます。  
教育長           小松委員、お願いいたします。

○小 松           まず、東京書籍ですが、会話が重視されていて児童が取り組みやすい  
委 員           ところが良いと思いました。それから、書くことが凄く充実している  
                  と思いつつ見させていただきました。

                  続いて、三省堂ですが、ホップ・ステップ・ジャンプと3つの構成と  
                  なっていて、学びやすいと感じました。そして先ほどからずっと出てい  
                  ますけれども、リスニングが非常に充実しています。英語をまず聞く  
                  ということが大事かと感じておりますので、この三省堂のリスニングの充  
                  実感は、非常に良いと感じました。

○柿 本           ありがとうございます。

教育長 青蔭委員、お願いいたします。

○青 蔭 まず、三省堂でございますが、もう委員の方々が言い尽くしておられ  
委 員 まして、話すことがなくなりました。

ただ、聞くという項目が充実していて、その後にここ慣れ親しんでいた英語を話して、書いて、読んでいるということのステップを段階的に学習ができるようによくできていると感じました。

東京書籍でございますが、別冊もございまして、単語を多く、語彙を増やすという点では、英語を学ぶ面で非常に良いと感じました。

○柿 本 ありがとうございます。

教育長 ほかにご意見よろしいでしょうか。

ほかにはないようでしたら、質疑を終結いたします。

それでは、外国語科英語について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手 1 名)

開隆堂。

(賛成者挙手なし)

学校図書。

(賛成者挙手なし)

三省堂。

(賛成者挙手 3 名)

ありがとうございます。

三省堂が賛成 3 人ですので、外国語科英語の教科用図書につきましては、三省堂に決しました。

続いて、特別の教科道徳について審議を行います。

細部説明を求めます。

板坂指導室長。

○板 坂 道徳につきましては、第 1 順位、光村図書出版株式会社、第 2 順位、  
指導室長 株式会社学研教育みらい、第 3 順位が東京書籍株式会社と学校図書株式会社と教育出版株式会社が同位、以下、日本文教出版株式会社と光文書院と廣済堂あかつき株式会社が同位という推薦をいただいております。

光村図書につきましては、「採択して 2 年なので実績の蓄積があり、学校現場としては続けたい。」「いろいろな意見が出やすく、自分の変容を捉えやすい。」「余分な設問が少ない。」「児童が考えるための読み物が豊富である。」「何を学ぶかが示され、自然にスタートでき

る。」

学研みらいにつきましては、「命について目立って重点的に扱っている。」「実際のSNS画面を取り上げ、今日的課題を丁寧に扱っている。」「見やすく、巻頭の写真の雰囲気が良い。」「学級で起きそうな身近な題材を扱い、おしつけがましくない。」

東京書籍につきましては、「発問がすっきりしている。」「自分を見つめて考えられるようになっている。」

学校図書につきましては、「分冊になっており、書き込み用ノートがある。」「大和市出身の川澄選手を扱った教材がある。」

教育出版につきましては、「大和市出身の根岸教授を扱った教材がある。」「児童が多様な考えを出しやすい設問となっている。」

日本文教につきましては、「今日的な課題として情報モラルについて扱っている。」

光文書院につきましては、「実際の生活画面で起きそうな身近な設定が取り上げられている。」

廣済堂あかつきにつきましては、「いじめについてどの学年でも万遍なく扱われている。」

以上が、採択検討委員会の所見でございます。

○柿本  
教育長

細部説明が終わりました。

委員の皆様のご意見をお願いいたします。

では、森園委員、お願いいたします。

○森園  
委員

まず、光村図書でございます。命の大切さを重点に構成されていて、これは非常によろしいと思います。道徳としての道筋がそのため案内しやすく薄くなっております。児童に命の大切さを考えさせるストーリーが幅広く紹介されています。内容も豊富でありまして、これは非常に心に残るものと思われまます。

次に、学研です。これも命の大切さのところを、インパクトをきちんと決めております。問題提起の物語を幅広く取り上げ、イラスト、写真でも分かりやすく工夫していると思います。

以上でございます。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

前田委員、お願いいたします。

○前田  
委員

まず、光村図書です。いじめ問題や情報モラル等の課題に、子どもたちが向き合うことができるように工夫されていて、多様な意見が出やすいようになっているということをお初めとして、全体的に生命の尊さが重視されていると感じました。

それから、2つ目が東京書籍です。いじめのない世界の教材が各学年にあって、いじめについてさまざまな視点から考えるように設定されていると感じました。そして、発問がすっきりしていて、学びの手助けになっていると思いました。

以上です。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

小松委員、お願いいたします。

○小松  
委員

まず、日本文教ですけれども、年間3回配置されている「いじめ防止ユニット」というユニットのところから、いじめについて多面的、多角的に学習できる工夫がされていると思いました。

他社でもノートがついているところがありますが、日本文教は見開きになっているので非常に見やすい作りになっていると感じました。

続いて、光村図書ですが、やはり命の尊さに、そもそも力を注いでいただいていると拝読させていただきました。

先ほど前田委員もおっしゃっていましたが、児童が向き合うことができ、その課題について児童が向き合う工夫が非常にされていると感じました。

以上です。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

青蔭委員、お願いいたします。

○青蔭  
委員

学研みらいでございますが、実際のSNS、これはもう大変に今問題になっていますが、今日的な課題を丁寧に取り上げておられて、感銘をいたしました。

光村図書ですが、何と云っても、今、子どもたちの生命を、大人もそうでございますが、非常に軽んじられているということを思いますと、生きとし生けるものの生命の尊さということを、ここに力を置いて本を作っていらっしゃるということで、2社とも感銘をいたしました。

○柿本  
教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見ございますか。よろしいでしょうか。

ほかにならなければ、質疑を終結いたします。

それでは、特別の教科道徳について採決いたします。

本件について、発行者名を読み上げますので、賛成の委員の挙手を求めます。

東京書籍。

(賛成者挙手なし)

学校図書。

(賛成者挙手なし)

教育出版。

(賛成者挙手なし)

光村図書。

(賛成者挙手4名)

ありがとうございました。

光村図書が賛成全員ですので、特別の教科道徳の教科用図書につきましては、光村図書に決しました。

- 青 蔭 委員 失礼させていただきます。お時間を頂戴して恐縮でございますが、この教科書を選ばれるのに大勢の方々のお力をいただきまして、ただいま各教科の教科書が決定いたしました。これに基づいて、各先生方はこの教科書に基づいて子どもたちに命を吹き込んでいただきたい。どの教科書にするか、大変問題がございますが、今決定をいたしましたので、どうか1時間、1時間を大切になさいます、子どもたちに命の燃やす、ここを是非先生方に学んでいただく、そしてまた良く咀嚼して子どもたちに分かりやすく、そして勉強することの楽しさ、勉強する楽しさが生きていく楽しさにつながりますので、是非大勢の方々の労苦をお感じいただきまして、1時間、1時間を大切になさって、子どもたちの授業を充実していただきたいと念じております。

以上であります。

- 柿 本 教育長 ありがとうございました。  
今の青蔭委員の言葉は、教育委員皆様の言葉として記録させていただきますと思います。  
ありがとうございました。

## ◎閉 会

- 柿 本 教育長 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。  
これにて、教育委員会7月定例会を閉会いたします。  
長時間にわたりお疲れさまでございました。  
ありがとうございました。

閉会 午前11時37分